令和7年度



大規模災害に備えた応援職員研修

災害マネジメント総括支援員(GADM)、災害マネジメント支援員には大規模災害時に総括 支援チームとして被災市町村の効果的な支援を実施することが求められます。

この研修では、総括支援チームの活動に必要な応急対策職員派遣制度についての知識を身に付けた上で、過去の大規模災害の経験などから、今後、総括支援チームに求められる役割について考えます。また、平時から「顔の見える関係」を構築し、相互の連携力向上を図ります。

研修の ポイント

- ●直近の災害対応から災害に関する最新の知識を身に付ける。
- ●災害マネジメント支援のノウハウを学び、総括支援チームに求められる役割について考える。
- ●平時から「顔の見える関係」を構築する。

共催:総務省

開催要領

日 程	令和8 年1月13日(火)~1月14日(水)(2日間)
-----	------------------------------------

場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 災害マネジメント総括支援員(GADM)に登録してから1年以上の市区町村職員 (支援員の方及び都道府県職員の方も受講可能です。)

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 **8,050円** 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 令和7年11月21日(金)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

令和8年

1月 13_{日(火)} 11:00~

入寮受付•昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:10

議 応急対策職員派遣制度について

総務省自治行政局 公務員部公務員課 応援派遣室長 **穂積 直樹** 氏大規模災害発生時の短期の応援職員派遣の仕組みとして構築された「応急対策職員派遣制度」 について、お話しいただきます。

14:25~15:35

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門

客員研究員 宇田川 真之 氏

応急対策職員派遣制度による災害マネジメント支援等について、最近の災害対応等での事例や 課題などを幅広にご紹介いただきます。

15:50~17:30

事例紹介 総括支援チーム活動時の経験談(能登半島地震)

(応援側)三重県いなべ市 防災課長補佐

大月 浩靖 GADM

(受援側)元 輪島市 防災対策課長

奥能登広域圏事務組合消防本部 参事兼庶務課長 黒田 浩二 氏能登半島地震時の総括支援チームの活動について、良かった点や反省点を大月GADMからお話しいただまます。また、大日GADMをはじめたした三重周総括支援チールが絵息表に入る

お話しいただきます。また、大月GADMをはじめとした三重県総括支援チームが輪島市に入った際、自治体職員が総括支援チームに対して何を感じたのか、当時、輪島市防災対策課で指揮を執られていた黒田氏にお話しいただきます。

18:00~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和8年

1月 **14**_{日(水)} 9:25~12:00

講義・演習 災害マネジメント討議

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門

客員研究員 宇田川 真之 氏

災害対応業務のマネジメントや被災市区町村長への助言、関係機関との連携など実際に対応することになる現場での事案について、どのように対応すべきか演習班で検討します。

13:00~14:10

総括 演習・ふりかえり

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門

客員研究員 宇田川 真之 氏

本研修を通して全体のふりかえりをしていただきます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。